

びふか 議会 です

こんにちは。

2021年8月
北海道／美深町議会

甘さの秘密は寒暖差



**第2回
定例会** 条例改正・補正予算 …… 2～3ページ

一般質問 ここが聞きたい 3議員 …… 4～7ページ

委員会報告 第8期の介護保険は 総務住民
魅力ある商店街に 産業教育 常任委員会 …… 8～9ページ

函岳のめ 全道町村議会広報コンクールで入選 …… 11ページ

**私からの
メッセージ** 美深への想い 高橋じゅり
橋田 夢華 …… 12ページ

第118号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

第2回定例会

第2回定例会が6月16日に開会し、行政報告、3議員の一般質問が行われました。また一般会計など補正予算2件、条例の一部改正3件、財産取得の全6件、議会会議規則の一部改正も審議され、全議案を可決。意見書3本を採択し18日に閉会しました。

介護保険料率を改正 低所得の高齢者に配慮

介護保険

条例の一部改正

第1号被保険者の第1段階から第3段階の保険料率を下げ、負担軽減を図るものです。第5段階が全体の基準額で月額45,000円です。

問 第1段階から第3段階の対象者は何人になるのか。

答 第1段階352人、第2段階239人、第3段階が208人となる。

質問者

荒川・齊藤

原案可決 全員賛成

補正予算

保険料率改正での該当者は799人で、減収額は758万3千円となり不足分は一般会計より繰り入れます。

問 介護保険料第1段階から第3段階までの減額について、一般会計からの繰り入れの仕組みとして、減額を大幅に進めることは可能か。

答 今回の軽減率も介護保険法施行令で定められている。

質問者

岩崎

原案可決 全員賛成

これを超える軽減は、町の負担になると考える。

第1号被保険者の介護保険料 所得段階別 年間基準額

所得段階	対象者	現行	改正後
第1段階	352人	27,000円	16,200円
第2段階	239人	40,500円	27,000円
第3段階	208人	40,500円	37,800円
第4段階	162人	48,600円	同左
第5段階	207人	54,000円	同左
第6段階	227人	64,800円	同左
第7段階	160人	70,200円	同左
第8段階	83人	81,000円	同左
第9段階	84人	91,800円	同左
計	1,722人		

対象者の詳細はこちらをご覧ください



玉川・川西地区の 給水施設前倒し整備へ

一般会計

補正予算

コロナ関連でひとり親と低所得の子育て世帯(対象36人)への一律5万円の臨時特別給付金、負担軽減を行う介護保険への繰出金、玉川と川西地区の給水施設の長寿命化工事設計委託料など2227万円の追加補正となりました。

玉川と川西地区の給水施設整備は、総合計画で令和5年着手の予定でしたが、農林水産省の補助事業に該当したことから2年前倒しで着手することになり、今後3年で総事業費は8480万円で、55%の補助となります。

問

玉川と川西地区の営農飲雑用水利用戸数の現状と、農家戸数が減少する中で総合計画に示し、事業費を計上していく考え方の根拠は。

答

現在の利用者は27戸。施設は地区管理組合を指定管理者としているが、戸数減で管理が大変になった。

今回の整備は監視体制強化と、機械の改修による管理の省力化を図る目的をもった事業。

質問者

齊藤・岩崎

原案可決

全員賛成



玉川浄水場



川西浄水場内部

施設建設後30年以上経過して機能低下や故障が頻発し、水の安定供給の維持管理が難しくなってきた

財産取得

歩道除雪ロータリー



○取得先

開発工建株式会社

○取得額

2915万円
(落札率82%)

問

機種を選定しでの入札か。

答

雪寒機械の購入基準により仕様書を作成。指名願ひ提出済みの4社で入札の結果、従来と同じ機種になった。

質問者

岩崎

原案可決

全員賛成

議会欠席事由を整備

「標準」町村議会会議規則の改正（令和3年2月9日改正）に伴う今回の改正は、議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備と成り手不足解消の一環として、出産、育児、介護など議

員として活動するにあたっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から産前・産後の欠席期間を規定するものです。また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて押印の義務付けを見直すものです。

○欠席の届出

- ・第2条第1項中「事故」のため出席できないとき⇒「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」のため出席できないときに改める。
- ・同条第2項中（出産による欠席届）「日数を定めて」⇒「出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあつては、14週間）前日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして」に改める。

○請願書の記載事項等

- ・第89条第1項中「押印」しなければならない。⇒「署名又は記名押印」しなければならない。に改める。

一般質問

3議員
町政を問う

一般質問とは・・・

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更・是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

全議員に質問する権利があり、所定の期日までに通告書を提出した議員だけが行うことができます。

藤原 芳幸 議員

- 新型コロナワクチン、今後の接種計画について
- チョウザメ事業、次のステップは

名取 明美 議員

- 高齢者の見守りについて

岩崎 泰好 議員

- びふか版「新しい生活スタイル」の展開は我慢の限界に打つ手は無いのか
- 現金給付での支援と山村留学交付金制度の今後は

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約して原稿を作成しています。



藤原 芳幸 議員

- ① 新型コロナワクチン、今後の接種計画について
- ② チョウザメ事業、次のステップは

問 チョウザメ、町民一体での盛り上げが必要

答 認知度を上げる努力をする

質問 辺溪の飼育施設がほぼ完成し稼働したが、点在した施設をどう運営していくのか。

町長 将来的には集約も考えなければならなくなるが、今は施設ごとに役割を分担し運営している。また、リスク分散にもなっていて当面は現状の施設を維持し「早く大きく」が取り組みの課題となる。



国道に設置されているカントリーサイン
町内でチョウザメに関するものを目にする
機会は意外と少ない

質問 安定生産の課題となるものは。

町長 ふ化・飼育技術は確立され、人材も育っている。まだチョウザメ自体に不確定な部分が多く、足りないものを補完できるように、北大水産学部など関係機関と連携して安定的な稚魚の確保を目指す。

町長 札幌でのPRでホテル・レストランに販売先が広がりました。コロナ禍で需要が止まっています。引き続き販路拡大に努力していく。

質問 販路拡大と町の特産品として、町民が一体となって盛り上げる雰囲気作りが必要。

昨年、初めてキャビアの商品化が実現し、過去に不評だった魚肉は改良が進み、今は評価が上がった。町民には温泉やイベントなどで食する機会ができてきた。学校給食や病院の配食にも利用され高評価も得ている。認知度を上げPRに力を入れていく。

問 ワクチン接種が始まったが

答 終了後も感染予防は続く

や延期されているが、宣言解除後は工夫して開催できる方向を示したい。

ワクチン接種を実施するにあたり、町民の理解と協力で混乱もなく、円滑に進んでいることに感謝申し上げます。

ワクチン接種が終了しても感染予防対策は継続しなければならぬと考えており、国・道の指針に従い啓発を行っていく。

これまで同様に感染予防への協力をお願いしていく。

質問 ワクチン接種の準備が整い接種が始まったが、今後の行事、イベント等や住民生活への影響は。

町長 町内の行事、イベント等は、感染の拡大や緊急事態宣言の発令により中止



混乱もなく順調に進んでいるワクチン接種

① 高齢者の見守りについて



名取 明美 議員

問 見守り強化は
安心して暮らせる町づくり

答 相談しやすい
環境づくりを検討

質問 現在、美深町と事業者との間で「美深町地域見守り活動に関する協定」が結ばれ、孤立の防止や支援が必要な人を把握し、地域福祉の向上を図っている。

町長 今後、見守り体制の強化について、町としては、どのように考えているか。

町長 高齢者の見守りについて、「北海道新聞」「セブンイレブン」「コープさっぽろ」「郵便局」の4社と協定を結んでいる。今後、協力事業者があれば考えていきたい。現在、行われている買い物宅配支援サービス・配食サービス・移送サービスの事業者との連携も図りながら、早期に異変を発見し、孤独死の防止や認知症の早期支援に繋がってきたい。

新たに生活支援コーディネーターとの連携

やボランティアによる声掛けを検討し、閉じこもることが原因となる要介護状態の予防に繋げる。

質問 4社との提携をホームページで初めて知った。

町長 高齢者には有益な情報であるため、広報をしないと『もったいない』。

町長 広報が不十分だとの指摘があるため、今後対応する。



質問 協力事業者による「安否確認」や「異変時対応」に加え、行政を含めた「こころのケア」としての見守りを行う考えはあるのか。

町長 「こころのケア」については、昨年、包括支援センターにより、80歳以上の独居の高齢者に対し、電話による状況把握で支援を行っている。今後も早期の支援が出来るよう継続していきたい。

また、民生委員による「安心ホットカプセル」の配布と見守り訪問の継続により、美深町の高齢者が安心して暮らせる体制づくりを目指している。

質問 人口減少・高齢化により、地域力低下が心配される。行政も含めた地域全体で見守り体制を構築して欲しいが。

町長 地域力の維持は、行政だけでは厳しいため、各団体に協力をお願いしたい。

質問 高齢者が相談しやすい環境づくりとして、「春・秋の見守り月間」の実施を行っているかがか。

町長 そのようなことも含め、将来に向けて検討していく年にしていきたい。

見守り体制の強化については、各団体、ボランティアの協力、指導を願いたい。





岩崎 泰好 議員

- ① びふか版「新しい生活スタイル」の展開は。我慢の限界に打つ手はないのか。
- ② 現金給付での支援と山村留学交付金制度の今後は。

問

コロナ禍の住民生活 知恵や工夫を

答

予約制は検討の価値あり

質問

第6次総合計画の町の将来像を「未来へ続く 笑顔あふれるまち 美深」と定め、誰もが安心して快適に暮らすことができる町を目指すとしているが、現実の住民生活はコロナ禍で様々な制限と我慢の連続で、もう少し知恵を出して行政の様々な分野においてそれらを克服するような「笑顔あふれるまち 美深」となるよ

うな仕組みづくりが求められているのでは。コロナ禍であっても旧来に匹敵するような住民活動や社会活動が展開できる具体例を伺う。

① 電子決済の利用
美瑛町の域内限定の地域電子通貨に学び、プレミアム商品券・まふく券をこの電子通貨にのせて町民に電子決済の利用を促進する施策を研究し進める時期にあるのでは。



美瑛町が導入した電子地域通過(愛称: Beコイン)

町長

コロナ禍の中にあって、国や

② 予約制を利用
非常事態宣言により公共施設は使用禁止状態。様々な文化サークルでは会議が開けない、サークル活動ができないと皆さん大変苦しんでいる。予約制により十分な感染防止対応を進めたら、解決の道が開けるし、体育館や図書館の利用も、予約制の中で進めたらいかがか。

③ 公共交通機関の利用
我が町の公共交通の現状を見ると、コロナ禍の中、特に町の中の「フレンドバス」の利用が相当落ち込んでいます。旧来からずっと提案しているように、乗りたい方の「ドアから行きたい目的のドアまで」とすると、問題も少しは解消できる。この機会にしっかりと研究を進めてそのような仕組みも大事では。

問

現金給付の是非は

答

全く否定している ものではない

質問

美深町山村留学制度推進要綱に示された交付金の妥当性、現金給付の是非、激変緩和措置の解釈は。

町長

山村留学を開始した当初から協議会へホスターホームの運営や親子留学支援を含む協議会の経費の全般を支援。支援は継続していく。現金給付の是非については、この度の助成金の見直し不公平感を持たれない内容へと移行して

道の政策を取り入れながら感染予防対策や経済対策を進めてきた。予約制は、ケースによって、いい方向を見つけていることが出来る

のではないかと、検討する価値があると思う。公共交通の面では、「ドアからドアへ」という検討は中々難しい課題と思う。

いく必要があるとの考えから生活扶助的な給付を見直すものであり、現金給付を全く否定しているものではない。激変緩和の措置は、今後、新規で親子留学に來られる世帯に対しては、親子留学助成金は廃止するも継続されている世帯に対しては、保護者の不安、こういうことを解消するため、段階的に見直しをする。

意見書採択

意見書の詳細はこちらでご覧ください



日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

提出者 小口議員
賛成者 藤原・中野・荒川・名取議員
提出先 衆参議院議長・他関係大臣

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 藤原議員
賛成者 小口・中野・荒川・名取議員
提出先 衆参議院議長・他関係大臣

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 齊藤議員
賛成者 岩崎・和田・五十嵐・田中議員
提出先 衆参議院議長・他関係大臣

総務住民常任委員会

第8期の介護保険は

令和3年5月11日

調査日

調査事項・内容

第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の内容について

保険料と今後の状況

計画では第7期に比較し2億円余り増えた計画値となり、保険料基準額は月額5370円と算定されたが、介護給付費準備基金から4900万円を活用し、これまでと同額の月額基準額4500円を実現した。今後も介護サービスの給付費が高水準に推移する見込みである。

第8期計画での新たな取り組み

グループホーム1ユニットの整備と、重点

課題として自立支援・介護予防・重度化防止を推進し、介護保険外サービスの充実、ボランティア育成によるサロン事業や日常生活支援事業の実施を目指している。

また保健や体育振興と連携した高齢者の健康づくりを目指す。

第6次総合計画での特別養護老人ホーム

改修事業は令和7年着工を目指し、実施計画に盛り込まれたが、国の設置基準変更もあり、どのような施設にするか、美深福祉会と

の協議を進めていく。

まとめ

保険料は今後、介護サービスの利用が高水準で推移することや、保険料の納入者人口の減少などで見直しが必要となるが、

「社会的実現」を目指しており、住民の理解を得る取り組みも必要になる。要介護者が入居できる施設が充実するが、低所得者でも安心して入居を検討できる環境整備も必要である。

高齢者数は減少するが、要介護認定者は増加が予想され、保険給付費も増加する見込みで運営がより厳しさを増す

	保険給付費実績・計画値	第1号被保険数(高齢者数)	住民高齢化率	要介護認定者数	
第7期	平成30年度	4億3,378万円	1,760人	40.2%	313人
	令和元年度	4億5,961万円	1,756人	41.3%	310人
	令和2年度	5億572万円	1,737人	42.2%	337人
	実績合計額	13億9,911万円			
第8期	令和3年度	5億3,111万円	1,722人	42.6%	336人
	令和4年度	5億3,626万円	1,694人	42.9%	342人
	令和5年度	5億4,164万円	1,664人	43.2%	345人
	計画合計額	16億901万円			

用語解説

サテライトオフィスとは

企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。従業員の働き方に重点を置き、本社と同様の仕事ができるような数人が働けるだけの小規模な環境と情報通信技術（ICT）を活用することで場所や時間の制約を受けず、柔軟に仕事をする働き方が注目を集めています。

ワーケーションとは

「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地で情報通信技術（ICT）を活用しながら、働きながら休暇をとる過ごし方。働き方改革と新型コロナウイルス感染症の流行に伴う「新しい日常」の奨励の一環として位置づけられる。

二地域居住とは

普段は都会に暮らす人が一定期間だけ地方で過ごすことを意味する言葉で、週末だけ田舎暮らしを楽しむ人や一年のうち半分は地方で暮らす人など、そのあり方はさまざまです。これまでは定年世代に多かった二地域居住ですが、現在は幅広い年代の方が二地域居住を始めていることで話題になっています。

産業教育
常任委員会

魅力ある商店街に

令和3年4月16日

調査日

調査事項・内容

魅力ある店舗・商店街づくりと企業誘致について

①「商店街活性化やプレミアム付商品券発行」の現状と「快適な住まい環境と商工業振興」の成果について調査し、課題の共有を図り今後の進み方を調査

②企業立地促進条例の活用状況と、空き店舗・空き家の活用による将来的な企業誘致につながるサテライトオフィスの可能性について調査

現状

プレミアム付商品券の発行事業は町内循環され、お買物の町外流失への一定の歯止めがかけられ経済効果は発揮されてきたが、具体的な分析・検証はされていないのが現状。マナー化への懸念と新たな展開として、ポイントカードやキャッシュレス化への取り組みも

課題の一つ。

商店街活性化では、商工会青年部を中心とした様々な取り組みやUターン・Iターンの若者が増加の傾向で、SNSでの発信などの新たな動きがあるなど、機運の高まりが生まれてきている。
快適な住まい環境と商工業の振興は、3年の時限立法で、令和元年度からは子育てに特

化した部分も盛り込み、子育て世代にターゲットを当て事業を進めている。新エネルギーの普及推進も含めて次期の制度化も検討中。

将来的な企業誘致につながるテレワーク、ワーケーションについての取り組みの進捗状況は、「全国二地域居住等促進協議会」に加え、地方への人の流れやテレワークをどうやって推進していくか、準備の状況。企業誘致条例による応募件数はゼロの状態が続いており、募集要件の変更等の検討やPR手法の改善、さらに、ホームページを検索する人にわかりやすいメニューづくりも必要。

まとめ

プレミアム付商品券発行については、商店側と消費者側へのアンケート等による実態調査と検証が必要。コ

ナ禍の下での消費拡大の観点から、町外の購買者にも購入利用可能な商品券となるよう研究が必要。「快適な住まい環境と商工業振興」では、今日までの成果を評価するとともに、ニーズに対応した時限立法として推進すべき。空き店舗・空き家の活用による将来的な企業誘致につながるサテライトオフィスの可能性については、現状把握として、空き店舗・空き家の状況把握調査を実施し、登録等につながる施策を実現すべき。社団法人あるいはNPO法人等を立ち上げ、空き店舗・空き家の情報を借り手・貸し手につなぐ取り組みは、商店街活性化にもつながり、快適な住まい環境の事業にも有効。

第2回臨時会

5月20日

第6弾のコロナ対策

一般会計に7444万4千円を追加し、コロナ感染症対策強化と

屋外健康器具設置、プレミアム付商品券・まんぶく券の発行やコム1000のWi-Fi環境整備などに関する補正予算審議を行いました。

送管破裂の復旧工事に363万円の追加補正を行いました。

質問者

岩崎・小口
藤原

原案可決 全員賛成

緊急質問

2度目の緊急事態宣言の発令を受けて、岩崎議員から5項目について緊急質問が行われました。

質問

町内でも感染者が確認された。正確な情報提供が必要では。

町長

町が把握し公開できるものはすべて公開している。

質問

発令から対策発表までに時間がかかっているが、対策本部会議の開催状況は。

町長

道から市町村への情報と要請を受けて対策本部で協議しており、その後の周知には、やや時間を要してしまう。

質問

ワクチン接種の見通し、町独自の

自のPCR検査体制、医療体制の整備の考えは。

町長

接種日を自治会ごとに指定し、電話台数を増やし対応する。先着順でないので混乱は少ないと予想している。

検査体制や陽性者病棟の確保など町独自の取り組みの考えはない。

質問

公共施設の管理体制、ごみ収集や救急業務で感染者が発生した場合の対応は。

町長

緊急事態宣言下では公共施設を原則休館としている。

質問

教育現場の状況と今後の方針・対応は。

教育長

国のガイドラインに基づき感染症対策を実施し、道のスクールサポートスタッフや学習指導員の命と学びを守る教育活動を進めている。

令和2年度 政務活動費

～政務活動費

このように使いました～

新型コロナウイルス感染症の影響による視察研修等の中止や自粛により、使用額は通年より急激な減少が続いています。

議員名	交付額	使用額	返納額
名取 明美	156,000	9,972	146,028
田中真奈美	156,000	59,644	96,356
和田 健	156,000	9,972	146,028
五十嵐庄作	156,000	9,972	146,028
岩崎 泰好	156,000	109,440	46,560
藤原 芳幸	156,000	9,972	146,028
小口 英治	156,000	58,614	97,386
中野 勇治	156,000	9,972	146,028
荒川 賢一	156,000	49,418	106,582
齊藤 和信	156,000	9,972	146,028
南 和博	156,000	35,844	120,156
計11名	1,716,000	372,792	1,343,208

雄武町議会 来町 議会広報編集作業を視察に



7月19日開かれた議会広報特別委員会の編集作業に合わせ、雄武町議会広報特別委員会（溝田昌志委員長）のメンバー4名が視察研修に来町されました。編集作業視察の後、意見交換の場が設けられ「町民の知りたいことをどう伝えるか」をテーマに活発な意見が出され、今後のお互いの広報編集に役立つ場となりました。



函岳のめ

「びふか議会です
こんにちは」は、
1992年創刊号発
行から30年目を迎え
た。

6月議会の最終日、
118号の最初の編
集会議の最中に飛び
込んだきたニュース
は、「議会広報コン
クール入選」という
初の吉報だった。

このコンクールは、
北海道町村議会議長
会主催で41回を数
え、今回は28町村
の応募の中から、特
選1議会・入選3議
会が選ばれた。

選者のコメントに
は『定例会での質疑・
討論が丁寧に掲載さ
れ、学校給食費値上
げという条例改正に
ついて、なぜ値上
げが必要なのかをしつ
かり伝えている。議
案は取捨選択され、
読者の目をひく見出
しが付けられている。
一般質問も「質問・
答弁見出し」ともに
わかりやすく、余白
を使ってレイアウト
されている。アンケ
ー結果の掲載も好印
象。寄せられた意見
を編集に

活用して
いただき
たい。』
とある。
広報と
の関わり



あいは2003年の
45号の議員投稿から
始まり、広報委員と
して編集作業の一員
に加わったのは50号
から。

創刊号には、「町
民が求めるもの、知
りたいことを重点に
住民サイドの編集姿
勢で一歩前進するこ
と」の基本方針。

鉛筆を舐めての編
集作業がパソコンに
代わっても、知りた
いことをどう伝える
か、その使命は続く。
(岩崎泰好記)

五十嵐庄作議員が辞職願 い 6月18日、本会議で許可

辞職に伴い、議会の構成は定数11名に対して欠員1名で10名の議員となる。公職選挙法では、「欠員が定数の6分の1を超えたときは補欠選挙が行われる。」との規定のため、補欠選挙は行われません。

各委員会は、総務住民常任委員会は5委員、産業教育常任委員会4委員の委員会構成となります。

上川北部消防事務組合議会議員の欠員により、補欠選挙の結果、和田 健議員が選ばれました。



表紙を飾る人

昼夜の寒暖差が、メロンの甘さを決める。寒暖差の大きな美深の地の利が「美深メロン」として実を結ぶ。内外の評価が高い特産品に育ちました。

美深メロン組合は、草刈昇一組合長を先頭に5戸の農家が年間13・6t(2540ケース)を生産し全国に出荷しています。

メロン農家を引き継ぎ、4年目の染川さん夫婦。果実へのやさしいまなざしに「美深の誇り」が感じ取れます。

議会の動き・予定

- 5/20 全員協議会
- 5/20 議会運営委員会
- 5/20 第2回臨時会
- 5/20 全員協議会
- 6/9 議会運営委員会
- 6/10 議会広報特別委員会
- 6/16 第2回定例会開会、提案説明、一般質問
- 6/18 議会運営委員会
- 6/18 議案審議、定例会閉会
- 6/18 議会広報特別委員会
- 7/2 議会広報特別委員会
- 7/5 議会広報特別委員会
- 7/5 議会広報特別委員会
- 7/5 雄武町議会視察受入
- 7/5 議会広報特別委員会
- 8/8 第3回臨時会
- 8/8 総務住民常任委員会所管事務調査
- 8/10 産業教育常任委員会所管事務調査

